

日本原子力学会 標準委員会 発電炉専門部会  
第1回 レベル2PSA 分科会 議事要旨(案)

日時:平成18年7月10日(月) 13:30~17:00

場所:原子力安全基盤機構 第13A会議室

出席者:

委員 梶本, 住田, 山越, 石川, 大野, 加藤, 川邊, 倉本, 杉山, 成宮, 濱崎, 佐藤(久持代理)  
12名

常時参加者 荻野, 日高, 舟山 (欠席 川端)

発言/傍聴希望者 太田

配付資料:

P10SC01-1 第21回作業会議事要旨

P10SC01-2 仕様規定化見直しについて

P10SC01-3 レベル2PSA 標準の仕様規定化案に対するコメント対応シート

P10SC01-4 レベル2PSA 標準(部会書面投票用)に対するコメント

P10SC01-5 ピアレビューの定義について

### 議事概要

議事に先立ち, 委員12名が出席しており(1名途中退席, 1名途中参加), 本会議が決議に必要な定足数を満たしていることが報告された。

#### 1) 前回作業会議事要旨確認(P10SC01-1)

特にコメントなく承認された。

#### 2) 役員選出

レベル2PSA 作業会の廃止及びレベル2PSA 分科会の発足に伴い, 主査の互選, 副主査及び幹事の指名が行われた。互選の結果, 主査には梶本委員が選出され, 副主査, 幹事には, それぞれ, 住田委員, 山越委員が指名された。

#### 3) 今後のスケジュール

事務局から以下の連絡があった。

- ・ 次回の発電炉専門部会は7/E~8/Bに開催予定。前回の部会コメントを反映し, 大幅な修正がなければ, 次回の部会にて書面投票の運びとなる。
- ・ 次回の標準委員会は7/14, その次の標準委員会は9月にそれぞれ開催予定。次回の標準委員会で報告, 次々回に書面投票となるのが理想的スケジュールである。

#### 4) 発電炉専門部会コメントに関する審議(P10SC01-2~5)

##### a) 概要

- ・ 住田副主査より, 6/9に開催された発電炉専門部会での審議内容について説明があった(P10SC01-2)。レベル2PSA 実施基準の修正案に対して, 発電炉専門部会としては, 6/30までにコメントを出し, コメントが反映された上で修正が多くなければ, 書面投票に移行する予定であることが報告された。
- ・ 発電炉専門部会コメントに対する対応を審議した(P10SC01-3~5)。委員の間で合意できたものについてはその場で修正し, 文案等の検討が必要なものについては持ち帰り検討することとなった。7/14の標準委員会には, 今回の審議結果をできるだけ反映して臨むこととなった。

##### b) 個別の審議事項

- ・ 「ピアレビュー」「デブリ」を本文の定義に含める。「ピアレビュー」の文案は審議済み。「デブリ」については文案を検討した上で本文の定義に記載する。
- ・ 表6.1, 表6.2(格納容器破損モードの分類)が分類結果であることを明確にするために, 本

文を修正する。

- 8.1.1 b)(発生頻度が大きい事故シーケンスを選択する。)については、格納容器破損頻度の算出は次章(9章)で出てくることから、「格納容器破損頻度」は使えないため、「発生頻度」という曖昧な用語を用いていた。記載内容が不明確にならず、かつレベル 2PSA の実情に合うように、文案を検討する。
- 解説 7.3(デブリ・コンクリート相互作用による負荷)については、参照している文献の内容を再確認した上で、部会コメントに対する文案を検討し、更に必要な参考文献を追加する。
- 「事故」「事象」「緩和／防止策」「手段」「操作」等の用語については、それらの用語が含まれる文脈を踏まえて、必要に応じて用語を統一する。

5) 今後の予定

- 7月14日の標準委員会にて、レベル 2PSA 標準について報告する。
- 可能であれば、それまでに今回の審議結果を反映する。

以上